

令和7年度 徳島県板野町における森林環境譲与税の活用について（公表）

令和8年9月作成

1. 活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	これまでの活用率	未執行額の活用方針
譲与額	10,717,000円	2,535,000円	13,252,000円	33%	現在、徳島県事業として森林資源解析が順次行われているが、板野町の森林資源解析が実施された後、その結果により、今後、具体的な活用方針を定めることとする。
活用額	3,847,600円	468,600円	4,316,200円		
基金積立	6,869,400円	2,066,400円	8,935,800円	基金残額	8,941,800円

2. 令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	備考
			事業費	財源内訳				
				当該年度の森林環境譲与税（千円）	基金取崩額（千円）	他の財源（千円）		
森林整備	意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	林地台帳システム保守点検業務	250,800	250,800	0	0	森林対策の基礎となる林地台帳システムの保守点検等を実施。	
木材利用	木造公共建築物等の整備・内装木質化	徳島県産材利用促進事業	217,800	217,800	0	0	庁舎等において、会議用机：6台を導入した。	
基金積立（執行残額等）			2,069,000	2,066,400	0	2,600	森林資源解析が完了し、その後の事業展開に備えられるよう、残額は基金に積み立てた。	（今後の事業展開） ・森林整備 ・森林の境界明確化事業
合計			2,537,600	2,535,000	0	2,600	—	—

3. 今後の実施計画

- ①引き続き、森林対策の基礎となる林地台帳システムの保守点検等を行うとともに、徳島県産材の利用促進を図る。
- ②森林施業の受け皿となる森林組合の人材育成・担い手確保などに対し、要望があれば積極的に協力する。
- ③板野町の森林資源解析が完了し、活用方針が定まるまで、その後の事業展開に備えられるよう、残額は基金に積み立てることとする。